

## 自然環境・景観分野への質問

	意見	区の考え方
1	自然環境と景観だとみどり、生物多様性の話になってしまうが、もう少し広い視野での都市環境や地球環境の話はどこかに入るのか。	地球環境については、第5回の環境分野で取り上げて、議論しています。
2	課題解決の方向で目黒川の合流式下水道の早期改善を都に要望とあるが、5年後には早期改善が図られるようにしていただきたい。10年後には水質改善が果たされていることを方向性に掲げていくべきではないか。	河川整備は費用と時間がかかる課題であり、河川管理者である東京都や関係する世田谷区、品川区とともに検討会を行っています。水質改善の計画を作り、区としては令和5年度には新たな機器の運転を開始したいと考えています。川底の硫化水素に酸素を入れることで一定程度の水質の改善は見込まれますが、合流する下水道が改善されないと根本的な解決にはつながらないため、時間が掛かる課題です。区としては早期に対応していきたいと考えています。なお費用については今後東京都と話し合っていきます。
3	区の目玉は目黒川の桜である。ただし、下水は隣接区、区横断的な施策が必要だが、この点、都との連携と区、区民の熱い思いを反映させることが必要ではないか。沿岸住民の納得のいく施策を皆で考えていくべきである。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。
4	課題解決の方向性の5年後で「目黒川の水質改善の充実」を挙げているが、現在の事務スケジュールを考えると、むしろ10年後の姿にした方が良いのではないか。	河川整備は費用と時間がかかる課題であり、河川管理者である東京都や関係する世田谷区、品川区とともに検討会を行っています。水質改善の計画を作り、区としては令和5年度には新たな機器の運転を開始したいと考えています。川底の硫化水素に酸素を入れることで一定程度の水質の改善は見込まれますが、合流する下水道が改善されないと根本的な解決にはつながらないため、時間が掛かる課題です。区としては早期に対応していきたいと考えています。なお費用については今後東京都と話し合っていきます。
5	オリンピックがあるのに東京湾の問題も含め実にみっともない。日本は近代国家なのか怪しいということになるので、河川と下水道との問題は早期改善が必要であり、むしろレガシーとして改善されることが望まれる。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

意見		区の方考え方
6	遺産相続により分割された土地に新築の家が建つがみどりが少ない。建築許可を下す時に協力要請をしなくては、緑化推進にならないのではないか。	区には「みどりの条例」があり、建築物の建築確認前に緑化計画を作って協議するという制度があります。それにより一定規模の新築の建物は道路沿いを中心に植樹がされています。建築主が自主的に行っているものもありますが、みどりの条例で道路沿いや敷地には木を植えるという制度を作っているため、そこで指導しています。
7	屋上緑化や壁面緑化は、維持管理やコストの面から進んでいるとは言えないのではないか。これらに代わる施策を検討すべきではないか。	区には「みどりの条例」があり、建築物の建築確認前に緑化計画を作って協議するという制度があります。それにより一定規模の新築の建物について、屋上緑化が可能な場合、屋上緑化の指導をしています。この結果毎年約5000㎡の屋上緑化が行われています。
8	野鳥の種類を増やすといった生物多様性はよいが、鳥が増えればフンの問題などが発生することもある。共生するための視点と両方が必要ではないか。	生物多様性では、野鳥の在来種を観察し、在来種が住める環境としていくことを目的としています。一方で、地域の猫やハトにエサを与えることが問題となることもあり、そのような場面では駆除やマナーの問題になるものと考えています。
9	景観の関係でお聞きしたいのだが、目黒区の地域特性を生かした、という表現が散見しているが、目黒区の地域特性を区はどうとらえているのか説明いただきたい。	本区は地形的な変化に富み、寺社や街角の石造物など歴史的にも価値がある景観が点在しています。道路形状といった生活空間がかもしたず景観地形や街並み空間を重要な地域特性ととらえています。自然、歴史、生活空間、街並みの変化などの要素に分けて景観計画に取り組んでいます。